

令和4年度第2回倉敷市社会教育委員会議 会議録

(開催日時) 令和5年1月31日(火) 9時30分～10時30分

(開催場所) 倉敷市公民館 第2会議室

(議 題) (1) 教育行政重点施策の取組について—令和4年度取組状況—
(2) その他

(出席者) 委員15人(別紙:社会教育委員名簿 参照)、事務局10人

(傍聴者) なし

(報道) なし

(会議内容) 以下のとおり

1 開会

2 あいさつ

— 教育長によるあいさつ —

3 協議

(1) 教育行政重点施策の取組みについて —令和4年度取組状況—

— 事務局からの説明 —

社会教育分野の主要事業・重点事業を掲載した資料をもとに、生涯学習部関係の重点施策・主要事業の主な事業について、令和4年度の取組状況を説明。

— 事前質問12件・事前意見5件—

資料「事前質問回答票」のとおり回答。

(議 長) 他に質問や意見はないか。

(委 員) 第1回目の社会教育委員会議でも話題となったWi-Fiの整備について、「令和5年度に基幹公民館の会議室から順次運用できるよう検討する。」と回答にあったが、それでは遅いのではないか。スマホの所持率や令和5年度から市内の小・中・高等学校ではタブレット(学習者用端末)の持ち帰りが行われるにあたり、家庭にもWi-Fi環境の整備をしてほしいというメッセージを(教育委員会から)出している。そういった中で、学ぶところ(社会教育施設等)にWi-Fi環境が整備されていないというのは、時代的なニーズと合っていないのではないか。フリーWi-Fiというのは、地域基盤だと考えている。例えば、中央図書館には、かつて整備されていたWi-Fiが今は整備されていない。しかし、隣接する観光案内所には整備されているという状況である。やはり、市民の学ぶための環境整備を進めていくためには、より一層スピードを上げて、Wi-Fi環境を整備すべきだと考える。

(議 長) これから海外からの観光客がたくさん入ってくる中で、フリーWi-Fiの設置は、当たり前となりつつある。それが遅れる(フリーWi-Fiの未設置)ということは、それだ

け地域の魅力がなくなることにも繋がるので、観光に絡めてよいので、Wi-Fi環境の整備を早急に進めるべきだと考える。また、情報機器を操作できる人材が不足していることも問題であるので、人材の配置も考えていただきたい。

自然史博物館の移転について、今は駅に近い所にあり利便性がよいが、ライフパーク倉敷に移転となると、駅から遠く移動手段が限られるので、そのあたりも考えて整備していかなければならないと考えている。また、自然史博物館は、独立した施設となるのか。

(部長) 先日、市民文教委員会で、自然史博物館のライフパーク倉敷への移転については、個別施設計画の中で方針を示している。現在のライフパークの施設内に自然史博物館が入るのではなく、現時点では、別棟の建設を計画している。来年度、基本計画を立てていく中で、バランスの取れた、利用しやすい施設となるよう、具体的な内容について検討していく。

交通手段については、バスの運用を担当している交通政策課とも連携していきながら進めていきたい。

(委員) 1点目、少年自然の家(PFI施設整備運営事業)について、今年度、山の学習に児童を引率した。自然環境に配慮されたぬくもりを感じる温かい施設となっていた。1泊2日の研修の中で、児童数名が日帰り予定だったが、木のぬくもりを感じる新しい施設(宿舎や食堂、玄関ホール等)を見て、日帰り予定の児童全員が宿泊することとなった。今後、老朽化した施設を建替えていくにあたり、予算の問題もあるが、利用者がぬくもりを感じるような施設をつくっていただきたい。

2点目、二十歳の集い(記念事業)について、ボランティアとして参加した。オープニングセレモニーでは、3つの団体がコラボで参加され、とてもすばらしい内容だった。コラボすることや連携すること(例えば、婦人会と子ども会)は、これからの社会教育にとってとても大切なことだと考える。また、委員から、精思高等学校の移転(旧霞丘小学校の施設へ)を機会に、近隣の小・中学校と連携した取組をしたいという意見があったが、これからの社会教育には、そのような様々な団体と連携した取組が大切ではないかと考える。

3点目、コミュニティ・スクールについて、この制度がなかなか広まっていかないということだが、地域によって、一つの中学校区に複数の小学校がある地区では、地域の人材を取り合いになる場合がある。現在の勤務しているところでは、1つの中学校に2校の小学校と保育園、幼稚園で構成され、その中学校区でコミュニティ・スクールを立ち上げている。そして、保・幼・小・中学校園が「笑顔を増やそう」を共通の目標とし、発育段階に応じた教育活動に取り組んでいる。この取組は、少しずつ地域に広まっている。コミュニティ・スクールの啓発や拡大は、時間はかかるが、「少しずつ」をキーワードに取り組むことが大切だと考える。

(2) その他

(議 長) 連絡事項等はないか。

(委 員) 子ども会から。子ども会には、「子ども安全共済会」という保険がある。年間 300 円で、ケガ等をした時の保険料が支払われる。その「子ども安全共済会」の特約で、「放課後安全プラン」という年間一人 500 円の保険が、翌日の臨時総会で決定する見込みである。この保険は、各 NPO やボランティアが利用する年間 1,000 円ほどかかるボランティア保険やスポーツ保険の代わりとして利用できるのではないかとということ報告する。

(議 長) 放課後安全プランという保険は、他にも利用できるのか。

(委 員) 全子連(全国子ども会連合会)は、この「放課後安全プラン」という保険について、子どもとその指導者が対象であるが、特約で、幅広く放課後・休日の活動や学童保育等の子どもたちと支援員にも広げたいと考えている。子ども会としては、子どもは地域の宝であり、子どもたちへの支援ができればと考え、ご提案とご報告とさせていただいた。

(議 長) 結果が分かれば、他の団体にもお知らせいただきたい。

(委 員) 「地域子育て支援拠点」を主催している。現在、子ども家庭庁ができ、様々な子ども向けの施策が変わりつつある中、妊婦や生まれたばかりの子どもの保護者も含めて、この層が社会教育の対象から漏れているように感じている。しかし、この層(妊婦や生まれたばかりの子どもの保護者等)は、とても大切で、この層にアプローチしていくことで、社会教育の展開が広がっていくのではないかと考えている。現在、社会教育委員に、地域子育て支援拠点関係者が 2 名在籍しているので、ぜひ、何か役立てていただければと考えている。また、活動を進めていく上で、Wi-Fi 環境の整備は、とても大切であるので、「来年度に整備を検討する」ではなく、早急に進めていただきたい。

(委 員) 小学校には、保護者一人でたくさんの子どもの子育てしている家庭がある。学校だけで、保護者を支えるということは難しい。学校には、心理カウンセラーやスクールソーシャルワーカーが配置されているが、助言や相談に乗ることはできても、具体的に家庭を支援することはできない。地域子育て支援拠点が身近にあればありがたい。

(委 員) 地域子育て支援拠点は、市内に 20 か所あり、およそ中学校区に一つある。しかし、これまで小学校との繋がりがなく、小学校へのアプローチが難しいと感じていた。今後は、小学校や先生とも繋がって、一緒になって若い子どもたちとその保護者を見守っていただきたい。岡山市は子育て支援拠点が保育園併設のみだが、倉敷市は、保育園だけでなく、大学にも併設されている。また、民間の NPO もあり、バラエティーに富んだ拠点が揃っている。今後は、子育て支援拠点について知ってい

ただ努力もしてまいりたい。

(委員) コロナの制限がなくなり、支援拠点に出てこられる保護者の方の話を聞くと、コロナ禍の3年間は、外にも行けない、誰とも話をすることができないなど、大変な思いをされた方が多いことが分かった。そのような会えない状況で繋がるためには、ラインやSNS (Instagram、Facebook) などのインターネットを使ってうまく繋がっていくしかない。子育ての始めの頃に子育てについて悩みや相談ができる場があれば、その後、多少の困難があっても、自分の力で立ち直ることができると考えている。子育て支援拠点は、子育てをする保護者やその子どもたちにとってとても大切な場所であると考えている。

また、身近な地域にある公民館などを利用しながら、密室での子育てにならないように、いろんな方の力を借りて、保護者の方をサポートしていきたいと考えている。

(議長) 子育てをしている保護者は、公民館で実施している家庭学級の講座にも参加できなかったりするので、Wi-Fi の設置も含め、行政の方で支援していただきたい。

4 閉会

— 教育次長によるあいさつ。 —

会議録の内容に相違ないことを確認し、ここに署名します。

令和5年 2月 20日

議長 赤木恒雄

令和4年度第2回倉敷市社会教育委員会議 質問に対する回答

	対象事業名・件名等	ページ	質問内容	担当部署	回答
1	自然史博物館管理運営事業	P8	評価2 施設の将来計画 庁内職員による検討チームの意見集約の結果、多くの課題が明らかになったとありますが、課題の代表的なものとしては、どんなことがあるか。	自然史博物館	・「あそこに博物館がある」という印象が少ない。 ・足を踏み入れても「観光案内所に着いた」という印象を受けた。 ・ホームページ、Twitter、Instagramなど様々な情報発信をしているが、全体にマニア向けの印象で、もっと一般受けする情報発信が必要では。 など
2	冒険遊び場支援事業	P9	プレーパークは、今の子どもたちにとって安心して遊べる大切な場であり、たくさんの体験をしてほしいと思う。リピーターが多いのか、広報活動はどのようにしているのか、9回実施とのことだが、参加者や年齢層がわかれば、おおまかでよいので教えてほしい。	生涯学習課	プレーパークの利用者は、各回50人から100人程度であり、リピーターが多く、利用者の年齢層は、幼児10%、小学生40%、中学生・高校生10%、19歳以上40%となっています。 また、広報活動については、「遊び場を考える会」が、2カ月に一度、チラシを学校園等に配布やLINE、Twitter、FacebookなどのSNSの活用により情報発信を行っています。
3	高梁川流域学び直し支援事業	P16	大変有意義な事業だと認識している。学習支援に関わっている支援員(講師)は、どんな方が何人くらいいるのか。 また、その方の処遇(労働条件)は、どのようになっているのか。	生涯学習課	本事業は、NPO法人 ステップ(岡山市)に委託している。利用者への支援は同法人の職員2名に加え、同法人の集めたボランティア講師が行っている。労働条件については、委託先である同法人が定めている。
4	図書館図書購入事業	P19	「船穂・真備地域の農業従事者への支援のため、農業コーナーの資料を充実させた」とあるが、真備・船穂は専業農家が多いため、資料も専門的な本が良いと思われるが、どのような本を置いたのか教えて欲しい。	中央図書館	真備図書館と船穂図書館の農業コーナーには、合計約1300冊の農業関連の資料があります。ブドウ・マスカットを中心とした果樹の栽培法や、野菜やイネ作り、草刈り・防除・タネ交換などについて書かれた資料を収集しています。栽培法以外にも、農業用語事典や農業者の起業、農業関連の法律や農業問題などについて書かれた資料も置いています。今後も農業従事者の方々に役立つ資料を幅広く収集するように努めてまいります。 資料の一部を紹介します。「最新農業技術果樹」(農文協)、「農業用語の基礎知識」(誠文堂新光社)、「農地法読本」(大成出版社)
5	生涯学習環境整備事業 公民館施設整備事業	P21 P23	コロナ禍の中で、急速にインターネットによる会議や学習会が普及している。Wi-Fi環境はライフパーク倉敷や各公民館に現在どの程度整備されているのか。 今後、Wi-Fi環境整備に特に力を注いでほしいが御所見は。	市民学習センター	ライフパーク倉敷ではオンライン会議(Zoom)やスマホ講座などを開催するために令和4年3月より大ホールや視聴覚ホール、各会議室において無線LAN(Wi-Fi)の利用できる環境を提供しています。 市民学習センターでの運用経験を踏まえ、令和5年度には基幹公民館の会議室から順次運用できるよう検討しているところです。

	対象事業名・件名等	ページ	質問内容	担当部署	回答
6	科学センター運営事業	P24	倉敷市が誇る施設と認識している。今後自然史博物館の移転に伴い、科学センターの利用も増加するのではないかと期待している。科学展示室のリニューアルに力をいれてほしい(意見)。プラネタリウムと実際の観測会との関連付けなどは行われているのか。	科学センター	天体観望会については、毎回プラネタリウムの解説と、実際の天体観望会をセットで開催しています。参加者は、まず、その夜に観る月や惑星などの天体を中心に、観望会の時間帯の星空について、プラネタリウムで30分程度の事前学習を行います。その後、屋上に上がって、天文台の常設の大型望遠鏡や、屋上に展開した複数の可搬式の望遠鏡などで、実際に天体を観ることができます。
7	二十歳の集い記念事業(旧:成人式)	P36	質問1、対象者数4,753人のうち何名の参加があるのか。 質問2、全体の予算を教えてください。	生涯学習課	質問1、4,777人(R5.1.6時点で市内に住民票がある20歳の人)中、2,776人が参加しました。(このほかに市外者が250人参加) 質問2、令和4年度予算は6,266千円です。
8	【拡大】学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)推進事業	P41	コミュニティスクールは認知度が低く、理解を広げるための広報活動が必要だと感じている。パンフレット等を作成配布する予定はあるか。	指導課／学事課／生涯学習課／教育企画総務課	ご質問にあります、パンフレットは、既に作成し、学校や校長会、コミュニティ・スクールの導入を検討している学校の評議員の方へ配布しております。また、校長会や個別の学校訪問、研修会等で、制度の概要や市内の状況等を示しながら、コミュニティ・スクールについてのご理解を図っております。
9	【拡大】学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)推進事業	P41	「目指す子ども像」とはどんな内容か。	指導課／学事課／生涯学習課／教育企画総務課	「目指す子ども像」とは、学校長が学校教育目標の中で、育まれる具体的な子どもの姿として表現しているものです。 学校教育目標は、学習指導要領により、知・徳・体のバランスの取れた「生きる力」の育成を目指すことが示され、これに基づき作成されるもので、各学校は、この学校教育目標により創意工夫を活かした特色のある教育活動を進めています。 また、コミュニティ・スクールでは、協議や熟議を通じて学校教育目標や「目指す子ども像」について保護者や地域の方に周知し、目標やビジョンの共有を図っています。
10	青少年育成センター非行防止活動事業	P45	防犯パトロール活動で、「家出少年等の捜索57件」とあるが、家出については、家族からの依頼か少年の申告なのか、見ただけではわかりにくいと思った。家出少年はどのくらいの年齢層なのか、また、件数も気になった。 倉敷市内の中学3年生が行方不明になり、未だ見つからないことが心配です。	青少年育成センター	「家出少年の捜索等」とは、「朝いつも通り家を出たのに登校していない」や「何らかの理由により児童生徒が校外に出た」などの理由により、学校から当センターに捜索依頼のあった件数です。家族からの依頼や少年からの申告等はありません。この段階では、保護者が警察に保護願を提出するケースは少ないため、当センター職員が学校を訪問し、該当児童生徒の特徴等を捉えて、捜索に当たっています。 年齢層は、小学生から中学生まで幅広く、その大半は自宅に戻っていたところを、保護者が発見し、学校に連絡を入れたというケースが多いです。 この他、保護者から警察に保護願が出されたケースでは、学校から心当たりのある場所等の情報を得て、捜索に当たるケースもあります。

	対象事業名・件名等	ページ	質問内容	担当部署	回答
11	歴史民俗資料館管理運営事業	P56	玉島の旧歴史資料館にある資料の適切な保存管理について、どのような方針を持っているか。	文化財保護課	玉島市民交流センター内の歴史民俗海洋資料室の新設にあたり、旧資料館の資料は当該分野を専門とする学芸員が文化財としての価値にもとづいて選別し、活用が可能な資料は歴史民俗海洋資料室に移して展示を行っております。残された資料には文化財的価値の面から有効活用が難しく、市において保存し続けることはできないものも多いことから、今後は元の所有者へ返却したり、地元の愛好家へ譲渡するなど地域の皆様でご活用いただくことも含め、適切な対応を検討してまいります。
12	町並み保存事業	P58	玉島の町並み保存について「今後、老朽化した建物が急速に失われていく危険性がある」との評価と方針について、もう少し詳しく現状と対策について教えてほしい。	文化財保護課	玉島の町並み保存地区について、建物外観の修理修景に対して補助金を交付していますが、利用希望者が少ないのが現状です。今後も修理修景の補助制度について、地域住民や施工業者等へ周知を行い、歴史的景観の保存に努めます。

◆その他いただいたご意見(情報共有)

	対象事業名・件名等	ページ	意見
1	いきいきパスポート事業 高梁川流域パスポート事業	P14 P15	パスポート事業は非常に良い事業だと思うが、今の時代に合わせてアプリではどうか。紛失もなくなるし、紙代節約にもなりSDGsにもつながるので。
1	高梁川学び直し支援事業	P16	外国籍の若者が増えている。「まなびばippo」を利用した生徒も本校に通っている。本来の趣旨とは違うかもしれないが、外国人受入のための取組(人材配置等)を行っていただきたい。
	公民館施設整備事業	P23	前回はWi-Fiについて質問したが、せめて大ホールのみでも、持ち運びWi-Fiの準備をしてほしい(使用料は支払います)。これからZoomも利用していく中、必須だと思う。
2	大学との連携による学校等支援事業	P30	倉敷芸術科学大学の学生(山野ひとみ研)とは、早島町水辺教室や酒津のホタルを楽しむ会で一緒に活動したが、非常に良い印象を持った。小学校等の授業でも活躍してくれると思う。
3	全体的な意見		本校は、令和6年4月に霞丘小跡地に分校が開校します。地域や小中学校と連携したいと考えていますので、必要があれば声をかけてください。